



2007年7月9日  
2018年1月20日  
若林 均監督兼GM

# 綾瀬ボーイズチーム指針

球けがれなく 道けわし

綾瀬ボーイズ



**野球をするのに、なぜ学び、努力、練習、をするのか？**

**原点は野球規則1.00『試合の目的』にあり、理解し取り組む事で何かが見え行動が起き将来に役立つ。**

## 原点は野球規則1.00 『試合の目的』

---

### 1.01

野球は、囲いのある競技場で、監督が指揮する9人のプレーヤーから成る二つのチームの間で、1人ないし数人の審判員の権限のもとに、本規則に従って行なわれる競技である。

### 1.02

各チームは、相手チームより多くの得点を記録して、勝つことを目的とする。

〈5.04〉 攻撃側は、まず打者が走者となり、走者となれば進塁して得点することに努める。

〈5.05〉 守備側は、相手の打者が走者となることを防ぎ、走者となった場合は、その進塁を最小限にとどめるように努める。

〈5.06〉 打者が走者となり、正規にすべての塁に触れたときは、そのチームに1点が記録される。

### 1.03

正式試合が終わったとき、本規則によって記録した得点の多い方が、その試合の勝者となる。

## ■ チーム指針発表にあたって

新たなるテイクオフ（離陸）チーム創設2003年2月14日

良いチーム、社会に愛されるチームをつくる！

なぜ『綾瀬シーレックス』が誕生したのか？子供たち日本の未来のため為、社会貢献次世代を担える人材育成、チーム活動を通して自分を発見し果敢に人生にチャレンジする成長、愛されるチームづくりの根本『チーム指針』をまとめました。

私たちは、チーム指針を道しるべとし、活動に取り組み、選手や携わる人たちすべての目標、目的、チームビジョンを共に叶えようではありませんか！

我々には、勝利者になる答えがあります。

伝統と、長年にわたり培ってきた「チームとしての誇りと知恵と経験」、我々だけが持ち得る強みであり武器なのです。今こそ綾瀬ボーイズは、「野球への情熱」と「感謝の気持ち」を持ち続け、選手は活動を通して学び成長、物事と向き合い創造力を高め、行動し、愛され愛することを育みお母さん・お父さん・スタッフ・OB・携わる方たちへ、感動と喜びを届けることで、勝利への道が拓けて行きます。決して今に甘んじることなく一緒に活動するすべての人たち、応援してくれているすべての人たち、今までご縁をいただいた多くの方々へ感謝の気持ちを持ち大いなる夢を馳せ、全員一丸となって果敢にチャレンジしていこうではありませんか。

変化を恐れることなかれ。我々綾瀬ボーイズのメンバー全員は、今、自らの意志をもって変化を受け入れる勇者の集まりだと確信しています。綾瀬ボーイズは、今日新たにテイクオフ『離陸』します。創設13年目の今、皆が幸せで心豊かな人生を手に入れるために、

“Change has come to 綾瀬ボーイズ. Yes, we can!!”

～綾瀬ボーイズに変化が訪れた。我々にはできる！！～

2007年7月9日

2016年8月20日

監督兼GM

若林 均



# 理念・目的

2007年7月9日  
2016年8月20日  
若林 均監督兼GM

～人として、勝利を掴ませ勝利者になる、重要な根本～

## 理念 子供たちと育み日本の未来に貢献する

### 目的

- ・活動を通して己と向き合い創造行動(チャレンジ)出来ることを発見する (人間性)
- ・自我・無我・利他の心、の区別を身につける (人間性)
- ・社会に愛されるチームにする (社会性)
- ・健全安全な環境を提供する (安全環境健全性)
- ・公認野球規則1.00『試合の目的』に記される、  
『1.01・1.02・1.03試合の目的』に常にチャレンジできる活動をする (野球の重要な根本)

2007年7月9日

2016年8月20日改定

若林 均監督兼GM

# 方針・使命・ミッション

～監督兼GMとしての未来に向け発展するチームづくりのコミット～

- ・「野球への**情熱**」と「**感謝**の気持ち」を持ち続け理念目的達成に向け行動する
- ・日本の未来を担える人材を育成する
- ・理念・目的・方針・使命・ミッションを共有出来る組織づくり
- ・発展できる組織をつくり次世代につなげていく
- ・未来永劫継続するチームをつくる
- ・目的を探求し、各々の目的達成のため計画し目標を掲げ夢を実現できるチームにする
- ・中学生野球チーム日本一になる礎をつくる
- ・活動において安全健全な環境を提供する
- ・選手が発展成長するため、『チームづくり』を活動指針とする



# 行動指針

走る姿にその人の心が顯れる

走 姿 顯 心

そう

し

けん

しん

野球をにおいて『走塁を見ればチーム状況が分かる』と言われています。走塁に限らず、練習中の集合や整理整頓や移動、試合中の攻守交替も含め、選手の走る姿を見ていると、その選手の心の強さや、心理状況が手に取るようにわかります。

# 選手チームづくり

2018年10月10日

15期生 主将 長島 侑冬

～夢・目標達成に向け、人生の日々実践に大切な活動指針～

## 一、『礼儀』

挨拶・返事・感謝・姿勢・態度

## 二、『緊張感を持つ』

## 三、『自分で仕事を探す』

状況判断し、自ら行動する

# チームづくり

2007年7月9日

若林 均監督兼GM

～夢・目標達成に向け、人生の日々実践に大切な活動指針～

第1条「素直であること」

第2条「好奇心旺盛であること」

第3条「忍耐力があり。諦めないこと」

第4条「準備を怠らないこと」

第5条「几帳面であること」

第6条「気配りができること」

第7条「夢を持ち、目標を高く  
設定する人ができること」



# チームづくり



## 第1条

---

### 「素直であること」

自分自身、家族、仲間の  
慶ぶ顔を思い浮かべれば自然と素直になれる。  
そして、何事も真剣に考えて取り組めば、それが  
すべて慶びになり、人から頼りにされる。  
頼られる人間は、皆、リーダーである。

# チームづくり

## 第2条

### 「好奇心旺盛であること」

野球は、何のためにするものか？

「自己実現のため」、「家族のため」、

「仲間のため」、……

せっかくやるなら“楽しくやらなきゃ損”。

何にでも興味を持って、果敢にチャレンジしよう。

# チームづくり



## 第3条

---

### 「忍耐力があり。諦めないこと」

**挑戦は、成功の母である。**

**しかし、まずは、「必ずできる！」と自己暗示をかけて本気で取り組む」、この順番が成功への道である。**

**そして、一度取り組み始めたら、絶対に諦めない。**

**そのためには、常に、「心・技・体」の努力を怠らない。**

# チームづくり

## 第4条

### 「準備を怠らないこと」

準備とは＝「考えること」。

人間は、考えれば、できないことはない。

考えて、考えて、考え尽くす。これが「準備」である。

そして、その後は、一心不乱に突き進む。

この行動の積み重ねが、Goodタイミングを導く。

「千里の道も一歩から」

# チームづくり

## 第5条

### 「几帳面であること」

シーレックス精神の几帳面とは、こういうこと。

1、野球小僧魂 = 仲間への思いやり、チームへの責任、  
約束を守る、技を磨く、できないは言わない

2、整理整頓 = 2通りある。

①身の周りの整理整頓、②頭の中の整理整頓。

これらが身について行動できる几帳面な人間がする行動は、廻りに  
に慶ばれるし、自身も良い人生が送れる。

# チームづくり



## 第6条

---

### 「気配りができること」

「笑顔」は、相手への最高の気配りである。

自分が見せれば、相手が安心し、相手が見せてくれれば自分も安心できる。

「笑顔」を見せるためには、相手への思いやりが何よりも大切。そのために、仲間との助け合い、次の人がわかりやすいように考えて行動を効率化する。

# チームづくり

## 第7条

**「夢を持ち、目標を高く設定することができること」**

夢は、仲間同志で堂々と口に出して語り合おう。

十回口に出すから「叶う」という。

そして、幸せになるために目標を高く掲げる。

そうすれば、「責任感が出る」、「無理をしない」、「悪事に手を染めない」。みんなが幸せになれる。

## チーム計画・編成・活動・行動・学校に関して

- ・コーチスタッフ（配置）は、チーム発表人事にて一年間（配置）、来年夏関東大会予選まで ※新一年生入会後に再編成
- ・現場コーチスタッフは、日々チーム全体、選手の状況を把握し監督と連携し、チーム並びに選手レベルを向上させる
- ・主将1名 副将若干名
- ・メンバー選手は基本、新3年生新2年生、から選出し連盟主催の大会に参加
- ・連盟主催大会、で上位、優勝を目指す
- ・大会で一つでも多く勝利し、敗北の経験を活かし成長する
- ・活動場所、対応に関して  
綾瀬市スポーツ施設・吉岡浄水場グラウンド・中村グラウンド・対外遠征にて、基本週4日間実施する  
平日練習対応は、役員・スタッフが責任を対応し、ご父兄の協力を得て活動する
- ・活動に関して  
コーチスタッフ・選手は、規約・チーム指針、理念・目的を理解し活動する。  
土曜、日曜は、1年間通して全体練習メニューを中心に、守備を軸にゲーム形式で行い、走塁、打撃を合わせて反復練習する。  
※冬場は全体トレーニング仕組化して体幹を鍛え脚力、体力を向上させる  
練習試合に関しては、全体練習で行っていることを実践体験させ練習の理解度を深め全選手の意識を高めチームレベルを上げる、  
選手・役員スタッフは、自分のテーマに、気づき気づかせ向上改善する  
練習試合の課題を当日に確認し当日もしくは近日中に課題を練習する  
平日練習に関して、個人のレベルアップと併せ体幹アップにつながる練習を中心に行う  
投手捕手の選手は、全体練習とは別メニュー練習を取り組むこともある ※土日平日も含め  
選手は、活動中に体調不良、故障、怪我が発生した場合報告する  
監督・役員・スタッフは、選手の健康状況を本人、ご父兄と連携確認し活動させる  
怪我人・故障者は、別メニュー、全体練習のサポートと併せプレー再開に向け取り組む  
【重要】コーチ、主将、副主将はチーム全体を現状判断して状況によっては仕組化している練習を反復する  
全体練習は新一年生も同様に基本はプレーする  
メンバー選手は春以降、合宿や遠征にて、夏の全国予選に向け活動する
- ・試験前に関して  
試験対策を取り組みながら活動する  
※試験前の土曜日、日曜日活動は基本全選手参加 但し、成績が悪い又は、1年生は報告の上試験対策OK  
※試験1週間～10日前平日練習完全OFFはOK 但し、家庭での自主練習は取り組む  
補足⇒連盟主催の大会は試験期間中が重なります、下級生から試験機関中の活動を慣らすこと



## チーム計画・編成・活動・行動・学校に関して

---

- 進路相談に関して  
選手が高校野球（私学）を希望する場合は、ご父兄選手が中学校と協議の上チームに相談してください  
スカウトがあった場合チームは、ご父兄に報告します、中学校に相談の上選択してください  
※チームはご父兄に報告前に選手に伝える事はありません  
選手ご父兄の縁故関係にて進学する場合は事前に代表又は監督に報告してください  
公立進学希望者の方も、チームにその旨伝えてください  
選手の学力及び野球能力を考慮し、本人希望の進学先にチームが推薦することも可能  
チーム側から、進学先の選択肢を提案することもあります
- 学校・成績に関して  
選手は学期末ごとに与えられる成績表のコピーを提出してください  
学校、野球を両立できるスケジュールにてテキスト、塾、家庭教師など活用して学力を向上させてください

メモ

名前

---

心を込め作成しました大切に扱ってください 若林 均